

## 児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI 浦和教室

		チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	建築基準法に基づき限られた空間の中で事故や怪我がないように配慮しながら行っております。	
	2	職員の配置数は適切である	配置加算を採用しているため、常時指導員は3名以上の体制となっており、しっかりサポートできる配置を行っています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	建築基準法に基づき、バリアフリー化の配慮を行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	毎日室内・道具の清掃を行い、療育中も換気をし、清潔を保っています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	終業ミーティング時にその日あった事を共有し、業務改善に向けて話し合いをしています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	保護者向けアンケートを実施し、評価の悪い項目については、今後計画的に改善を図っています。また、顧客満足度調査を実施し、業務改善に繋げていきたいと考えています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	ホームページにて公開しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		現在第三者による外部評価は行っていませんが、必要に応じ検討します。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	興味や必要に応じ外部研修に参加し、内容を共有する機会を設けています。また、社内研修は運動面など適宜行っています。	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	児童発達支援管理責任者と全ての指導員が、子どもの様子と保護者の要望を確認しながら、個別支援計画を作成しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		現在標準化されたアセスメントツールは存在しないため、今後作成し、運用していく予定です。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	子ども一人ひとりのサービス計画に沿って、基本活動(自立支援・日常生活の充実のための活動等)を複数合わせて行っています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	計画を作成する際も、すべての職員が参加しており、その支援についても意思統一を図っています。	

## 児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI 浦和教室

適切な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	児童発達支援管理責任者と指導員全員で話し合い、プログラムの立案を行っています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	プログラムに関しては、全職員が参画して作成しているので、それぞれの強みを生かして、お子様にあった形で提供しております。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	契約時に適性を見極め、子供の成長度合いに応じ、小集団の中で個別にレベル設定を変えられるよう計画を作成しています。クラス編成に関しては、児童発達支援管理責任者、指導員、保護者、子どもの意見を取り入れて行っています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	支援開始前に必ず打ち合わせの時間を確保し、課題を書き出し、ミーティングの中で、支援方法や役割分担を行っています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	支援終了後に必ず打ち合わせの時間を確保し、1日の振り返りミーティングの中で、気づいた点や改善点を洗い出しています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	サービス提供記録と共に、日報の記録も全職員が参加して、支援内容の振り返りと改善点の記録を残しています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	定期的(6ヶ月ごと)に保護者と面談を行っています。それに合わせ、児童発達支援管理責任者、指導員でミーティングを行い計画の見直しの必要性を判断しています。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	基本的に児童発達支援管理責任者が参加しているが、必要に応じて現場の職員が参加する場合もあります。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	直接の連携は行っていないが、保護者からの要望に応じる形で、情報の共有など連携できる体制は整えています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		医療的ケアが必要なお子様は通所されていません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		医療的ケアが必要なお子様は通所されていません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		必要に応じて対応していきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		必要に応じて対応していきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	区市町村が運営する公開研修・療育セミナーに各自参加し、その中で積極的に情報収集を行っています。	

## 児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI 浦和教室

	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		特に検討していないが、今後必要に応じて検討していきたいと思います。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		現在参加はしていないが、今後必要に応じて検討していきたいと思います。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	毎回の支援終了後に、保護者とのフィードバックの時間を設け、学校や家庭での様子を伺いながら、支援の様子と合わせて、状況や課題を共通認識しています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	ペアレントトレーニングは特に実施していないが、日々のフィードバックの中で、子ども対応について親へのアドバイスを行っています。また面談時に相談を受けた場合も、指導員が回答するなどして支援を行なっています。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	運営規程の内容や利用者負担額については、主に契約時に説明しているが、支援の内容は様々な状況で詳しく説明しています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のわらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	定期的(6ヶ月ごと)に保護者の方と面談を行い、支援計画の説明と同意を頂いています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	毎回、指導員や児発管が悩みを聞き出すように声掛けし、助言や支援を行っています。一人の判断で回答できないときは、スタッフ間でミーティングし回答するように心がけています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		コロナ渦に開業した為、実施できておりません。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	現在は契約時等に苦情の連絡方法を伝えたり、苦情になる前に保護者の様子を察知し事前対応しているつもりですが、必要に応じて、意見箱の設置や専用お問い合わせ窓口を設置することを検討していきます。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	口頭での連絡が多いが、必要な場合は紙面での伝達を行っています。また、必要に応じて教室内に掲示しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	個人情報と思われる資料は、シュレッダーを掛け、カギ付き書庫の中に保管したりしているが、PC等からの個人情報へのアクセスについても、セキュリティソフトを導入して対応しています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	必要に応じて、重要事項は文書として渡すなどの配慮を行っています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		現在特にしていないため、今後必要に応じて検討していく予定です。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	緊急時対応マニュアルと感染症マニュアル作成し、定期的に事業所内で研修等を実施しております。	

## 児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI 浦和教室

非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	年2回実施しております。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	契約の際に提出していただくフェイスシートにて確認しており、スタッフ間で情報の共有をしています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	契約の際に提出していただくフェイスシートにて確認しており、スタッフ間で情報の共有をしています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	その都度記録し、全職員で映像を見返して共有するとともに、今後の対応策を話し合い実践しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	定期的に事業所内で虐待防止の研修を行っています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	身体拘束同意書を用いて説明、同意をいただき、個別支援計画に記載しています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI 浦和教室

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	21	4	1	0	・前後のコマの入れ替わり時に入り口が混雑するので、終了時刻と次の開始時刻まで10～15分ほど間を開けては？ ・3～4人で十分動き回れるスペースがあり安心です。	建築基準法に基づき限られた空間の中で事故や怪我がないよう配慮しながら行っております。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	25	1	0	0	どの先生に見ていただいても丁寧な対応で感謝しています。	ありがとうございます。今後も保護者様に安心していただける教室づくりを目指し、運営してまいります。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	22	1	0	3	入退場時の靴箱のみ混雑していて、まごまごしているときがあります。	人数が多いクラスの入退場は開場時間を早め、混雑緩和をはかる等改善策を考え、実践してまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	24	1	0	1	いつもきれいです。	ありがとうございます。今後も保護者様に安心していただける教室づくりを目指し、運営してまいります。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	26	0	0	0	本人の特性をよく理解いただいています。	ありがとうございます。今後も保護者様のニーズを汲み取り、個別支援計画に基づいたプログラムを実施してまいります。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	24	1	0	1	・その時々困りごとにアプローチしていただけて心強いです。 ・教室が広くないため、普段、保護者の見学ができません。ですので、先生方は頑張ってくださいているのだと思いますが、的確な判断はできかねます。 ・計画の見直し後もフィードバックの内容が同じなため、あまり変化がないように感じる。	・ありがとうございます。今後もご家庭に寄り添う療育を目指してまいります。 ・貴重なご意見をありがとうございます。見学につきましては、法改正に伴う次年度の時間割次第で、前向きに検討していきたいと考えております。 ・今後、フィードバックはより具体的且つ、目標に対してお伝えできるよう職員間で徹底してまいります。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	22	3	0	0		
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	21	2	1	2	毎回様々な活動内容で飽きずに楽しめています。	ありがとうございます。全職員が参画し、作成しているため、それぞれの強みを活かしてお子様にあった形で提供できているものと推測いたします。今後も引き続き多種多様なプログラムを提供してまいります。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	1	5	14		
10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	26	0	0	0			
11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	26	0	0	0	・きちんと説明があり、安心です。 ・入所の時に、丁寧に説明してくださいました。	ありがとうございます。契約時だけでなく、6ヶ月ごとに保護者の方と面談を行っており、その際にも支援計画の説明と同意をいただいております。今後も必要に応じてお伝えしてまいります。	
12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	6	2	7	11	見学する機会がたまにあると嬉しいです。	見学につきましては、法改正に伴う次年度の時間割次第で、前向きに検討していきたいと考えております。	

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI 浦和教室

保護者への説明等	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	23	2	1	0	良いことも改善が必要な部分も伝えていただけて安心です。	今後も引き続き大切なお子様を注意深く見守り、指導を継続しつつ、保護者様と共通理解が深まるよう努めてまいります。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	20	4	1	1	・教室での出来事などの伝達が紙に残るほうが分かりやすいです。出入口での待機が混んでスペースが少ないのでゆっくり聞ける環境でないのが何か対策がないかなと感じています。※早めに(15分)伝達を個別で聞けるよう、室内出入口で交代で聞くなど) ・面談でゆっくりお話ができて助かっています。	・ご意見ありがとうございます。教室での出来事や伝達事項はフィードバック時に行ってりましたが、十分ではなかったようで申し訳ありません。今後改善策を考え、実践してまいります。 ・今後も面談は定期的に行います。また、気懸かりなことがございましたら、いつでもお声をおかけください。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	1	12	11	・保護者会などあれば参加したいと思っています。 ・開催されているのならば情報を見落としている。	これまでコロナ禍だったこともあり、父母の会等は開催しておりませんでした。保護者様のご意見を鑑み、次年度以降機会を設けられるよう検討していきます。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	22	2	0	2	何かあったら電話で先生へ相談できるという安心があります。	希望に応じて事業所内での相談支援、電話での相談支援を随時受け付けております。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	24	1	0	1	トラブルが起きた日のフィードバックでは、他の保護者の手前、子の名前を伏せてお話しただけて、配慮を感じています。	今後も引き続き、個人情報やプライベートを守ってお話できるよう継続してまいります。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	11	3	2	10	・発信されているのならば見落としている。 ・教室に掲示があったり、LINEの情報はありますが、Instagramの浦和教室の掲載は、うちの子が入会してからはまだ見たことがないため、どちらともいえない。	現在情報の発信方法としては、口頭が多いです。必要に応じて書面を配布したり、掲示する等視覚的発信も行っています。自己評価の結果はホームページにて公表しております。Instagramアプリに関しては弊社本部の運営の元行われております。ぜひご覧ください。掲載元アカウント→takumi_initias
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	25	0	0	1		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	26	0	0	0	実施されていて安心です。	ありがとうございます。今後も定期的に非常事態を想定した訓練をお子様とともに行ってまいります。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	26	0	0	0		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	22	4	0	0	・子の気分による。 ・毎回楽しみにしており、スムーズに通えています。	ありがとうございます。今後も継続しつつ、お子様が楽しく通える環境でいられるよう努めてまいります。
	23	事業所の支援に満足しているか	22	4	0	0	満足していて頼れる場所です。	ありがとうございます。今後も継続し、保護者様、お子様ともに満足していただけるよう努めてまいります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名

TAKUMI 浦和教室

		チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	建築基準法に基づき限られた空間の中で事故や怪我がないように配慮しながら行っております。	
	2	職員の配置数は適切である	配置加算を採用しているため、常時指導員は3名以上の体制となっており、しっかりサポートできる配置を行っています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	建築基準法に基づき、バリアフリー化の配慮を行っています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	終業ミーティング時にその日あった事を共有し、業務改善に向けて話し合いをしています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	保護者向けアンケートを実施し、評価の悪い項目については、今後計画的に改善を図っていく。また、顧客満足度調査を実施し、業務改善に繋げていきたいと考えています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	ホームページで公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		現在第三者による外部評価は行っておりませんが、今後も今のところ予定はなく、必要に応じ検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	興味や必要に応じ外部研修に参加し、内容を共有する機会を設けています。また、社内研修は運動面など適宜行っています。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	児童発達支援管理責任者と指導員が、子どもの様子と保護者の要望を確認しながら、個別支援計画を作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		現在標準化されたアセスメントツールは存在しないため、今後作成し運用していく予定です。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	プログラムに関しては、全職員が参画して作成しているため、それぞれの強みを生かして、お子様にあった形で提供しております。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	プログラムに関しては、全職員が参画して作成しているため、それぞれの強みを生かして、お子様にあった形で提供しております。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	休日も開所しており、サービス提供は平日と変わらず行っています。長期休暇には特別プログラムを実施する場合もあります。	

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 TAKUMI 浦和教室

適切な支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	契約時に適性を見極め、子供の成長度合いに応じ、小集団の中で個別にレベル設定を変えられるよう計画を作成しています。クラス編成に関しては、児童発達支援管理責任者、指導員、保護者、子どもの意見を取り入れて行っています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	支援開始前に必ず打ち合わせの時間を確保し、課題を書き出し、ミーティングの中で、支援方法や役割分担を行っています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	支援終了後に必ず打ち合わせの時間を確保し、1日の振り返りミーティングの中で、気づいた点や改善点を洗い出しています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	サービス提供記録と共に、日報の記録も全職員が参加して、支援内容の振り返りと改善点の記録を残しています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	定期的(6ヶ月ごと)に保護者の方と面談を行っている。それに合わせ、児童発達支援管理責任者、指導員でミーティングを行い、計画の見直しの必要性を判断しています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	子ども一人一人のサービス計画に沿って、基本活動(自立支援・日常生活の充実のための活動など)を複数合わせて行っています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	基本的に児童発達支援管理責任者が参加しているが、必要に応じて現場の職員が参加する場合があります。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	保護者と毎回送迎時に情報共有を行っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		医療的ケアが必要なお子様は通所されていません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	現在は就学前の各園との情報共有等は行っていないが、放課後等デイサービスや保険対象外の療育施設との情報共有や相互理解は要望があれば対応しています。今後、必要に応じ検討していきたいと思っています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	現在障害福祉サービス事業所等へ移行する児童はいないが、その必要があれば、資料を提供できる体制は整っています。	
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	区市町村が運営する公開研修・療育セミナーに各自参加し、その中で積極的に情報収集を行っています。		



## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 TAKUMI 浦和教室

携	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		現在は限られた営業時間の中で実施するのは難しく実施していません。また保護者からも必要との声が聞こえてこないため、今後必要性があれば検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		現在特にしていないため、今後必要に応じ検討していきたいと思ひます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合ひ、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	毎回の支援終了後に、保護者とのフィードバックの時間を設け、学校や家庭での様子を伺いながら、支援の様子と合わせて、状況や課題を共通認識しています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	ペアレントトレーニングは特に実施していないが、日々のフィードバックの中で、子ども対応について親へのアドバイスを行っています。また面談時に相談を受けた場合も、指導員が回答するなどして支援を行なっています。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	運営規程の内容や利用者負担額については、主に契約時に説明している程度であるが、支援の内容は様々な状況で詳しく説明しています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	毎回、指導員や児童発達支援管理責任者が悩みを聞き出すように声掛けし、助言や支援を行っています。一人の判断で回答できないときは、スタッフ間でミーティングし回答するように心がけています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		コロナ渦にオープンした為、実施できておりません
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	現在は契約時等に苦情の連絡方法を伝えたり、苦情になる前に保護者の様子を察知し事前対応しているつもりであるが、必要に応じて、意見箱の設置や専用お問い合わせ窓口を設置することを検討していきます。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	口頭での連絡が多いが、必要な場合は紙面での伝達を行っています。また、必要に応じて教室内に掲示しています。	
	35	個人情報に十分注意している	個人情報と思われる資料は、シュレッダーを掛け、カギ付き書庫の中に保管したりしているが、PC等からの個人情報へのアクセスについても、セキュリティソフトを導入して対応しています。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	必要に応じて、重要事項は文書として渡すなどの配慮を行っています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		現在特にしていないため、今後必要に応じ検討していく予定です。

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 TAKUMI 浦和教室

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	緊急時対応マニュアルと感染症マニュアル作成し、定期的に事業所内で研修等を実施しております。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	年2回実施しております。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	定期的に事業所内で虐待防止の研修を行っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	身体拘束同意書を用いて説明、同意を承諾していただいております。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	契約の際に提出していただくフェイスシートにて確認しており、スタッフ間で情報の共有をしています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	その都度記録し、全職員で映像での振り返りなどで共有するとともに、今後の対応策を話し合い実践しています。	

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI 浦和教室

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18	7	0	狭いながらも人数制限がされているので問題ない。	建築基準法に基づいた空間で怪我や事故がないよう配慮しております。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	25	0	0		配置加算を採用しているため指導員の数は常時3名以上配置されております。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	17	8	0		建築基準法に基づきバリアフリー化の配慮を行っております。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	24	1	0		児童発達管理責任者、指導員が子どもの様子と保護者の要望を確認しつつ個別支援計画を作成しております。
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	21	4	0		全職員が参画して作成しているので、それぞれの強みを活かしてお子様にあった形で提供しております。
保護者 への 説明等	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	12	10	・交流はないと思いますが不満はないです。 ・その機会を知らないだけかもしれない。 ・限られた時間内での活動なので、現行のままでいいと思います。	当面はそのような機会は検討しておりませんが、必要に応じて対応して参ります。
	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	25	0	0		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	25	0	0	状況についての共有はあるが、落ち着いて話せない。	今後の検討課題にさせていただきます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	22	2	0		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	7	16	・なかったとしても不便や不満はありません。 ・その機会を知らないだけかもしれない。	親子イベントなどを開催し、交流の場を設けていければと思っております。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15	10	0	そういうケースがなかった。	今後、必要に応じて意見箱の設置や専用の問い合わせ窓口を設置することを検討していきます。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	22	3	0		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	17	8	0		紙面、教室内(玄関)に掲示、LINEを用いて情報の発信を行っております。
	14 個人情報に十分注意しているか	22	3	0		個人情報と思われる資料はシュレッダー処理をし、個人ファイルは鍵付き書庫の中に保管したり、PCにもセキュリティソフトを導入して対応しています。
	非常時等	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	20	5	0	説明があったかもしれないが覚えていない。

## 保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI 浦和教室

子の対応	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	23	2	0	
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	23	1	0	自分の生活リズムに組み込まれ、楽しく通えていると感じます。 継続し、通っていただけるよう引き続き努めて参ります。
満足度	18	事業所の支援に満足しているか	24	1	0	本人や保護者の思いを汲み取ってくださりながら、丁寧にご支援いただいていると感じ、大変感謝しております。 今後とも満足していただけるよう邁進して参ります。

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。